

MOBOTIX JAPAN

MOBOTIX JAPAN
株式会社K.J.フェロー

231-0011
横浜市中区太田町6-85
RK Cube 4F
T 045-227-6285
F 045-227-6286
www.mobotix-japan.net
www.kjfellow.com

製品情報

2018年7月24日



2018年6月/7月

■MOBOTIX MOVEカメラ プログラム

■Mx6A販売終了

■スケジュール

1. MOBOTIX MOVEカメラプログラム



MOBOTIXにおけるテクノロジープレミア: 新しいMOBOTIX MOVEカメラシリーズ到来！

MOBOTIXカメラのポートフォリオがテクノロジーの点において過去最大に - これらの製品は、ほとんどの監視プロジェクトに完璧に装備され、ほとんどの要求に応えることができます！

この夏、MOBOTIXは現行のMx6カメラシリーズに、MOBOTIX MOVEを加えます。4つのモデルから始まります。: 2種類のPTZスピードドームカメラ、1種類のプレートカメラ、1種類のバンダルドームカメラ。これら全て防水の高いクオリティのIPカメラは、統合赤外線LED、機械式自動デイナイト切替、ワイドダイナミックレンジ、ハイスピードPTZのような従来の標準的中央集中型ビデオシステムの機能を搭載しています。MOBOTIX MOVEは最新のMx6テクノロジープラットフォームのための分散型プレミアムビデオシステムに加えて、補足的なシリーズとなります。

技術的な可能性を秘めたMOBOTIXの歴史上最大のバラエティを享受ください。留意点: MOBOTIX MOVEカメラは、H.264のONVIFフォーマットでの中央集中型システムです。通常、中央のデータストレージとONVIFスタンダードをサポートしているビデオマネジメントシステム(VMS)が必要です。*MOBOTIX標準の分散型システムではありません。

MOBOTIX MOVE カメラモデル - 主要技術詳細比較				
				
タイプ	バンダルドーム IR LED付	プレートカメラ IR LED付	スピードドーム	スピードドーム IR LED付

MOBOTIX MOVE カメラモデル - 主要技術詳細比較				
				
カメラ名	MOBOTIX MOVE VD-4-IR	MOBOTIX MOVE BC- 4-IR	MOBOTIX MOVE SD-330	MOBOTIX MOVE SD-340-IR
製品番号	Mx-VD1A-4-IR	Mx-BC1A-4-IR	Mx-SD1A-330	Mx-SD1A-340-IR
主要機能	防水 ONVIF S/G ドームカ メラ 統合赤外線LED(最大 30m)日中夜間使用用	防水 ONVIF S/G プレット カメラ 統合赤外線LED(最 大30m)日中夜間使用用	防水 モーター付ONVIF S/G ドームPTZカメラ	防水 モーター付ONVIF S/G ドームPTZカメラ 統合赤 外線LED(最大200m)日中夜 間使用用
オプション アクセサリ	ウォールマウント(Mx-M-VD- W)、ポールマウント(Mx-M- VD-P)、コーナーマウント (Mx-M-VD-C)、天井付けマウ ントセット(Mx-M-VD-IC)、透 明/色付ドーム(Mx-A-VD-DCT/ Mx-A-VD-DCS)	ウォールマウント(Mx-M-BC- W)、ポールマウント(Mx-M- BC-P)	ウォールマウント(Mx-M-SD- W)、ポールマウント(Mx-M- SD-P)、コーナーマウント (Mx-M-SD-C)、透明/色付ド ーム(Mx-A-SD-DCT/Mx-A-SD- DCS)	ウォールマウント(Mx-M-SD- W)、ポールマウント(Mx-M- SD-P)、コーナーマウント (Mx-M-SD-C)
画像センサー	4MP(2688x1520)、1/3インチ・プログレッシブCMOS		3MP(2065x1533)、1/2.8インチ・プログレッシブCMOS	
最大フレームレ ート	4MP/3MP@30fps(H.264、アクティブWDR機能有無); MJPEG: 1080p@30fps			
デイナイト	機械式赤外線カットフィルター付自動デイナイト切替			
最低照度	カラー: 0.01lux 白黒: 0.01lux	カラー: 0.01lux 白黒: 0.01lux	カラー: 0.04lux 白黒: 0.01lux	カラー: 0.04lux 白黒: 0.002lux
レンズ	モーター付バリフォーカルレンズ、"ワンプッシュ"オートフォーカスとPアイリス("プリサイズアイリス"照度条件変化 時自動/機械式調整付			
ズーム	リモートズーム	リモートズーム	最大30倍光学ズーム	最大40倍光学ズーム
焦点距離	F1.7:3-9mm	F1.7:3-9mm	F1.6:4.3-129mm	F1.6:4.3-170mm
水平画角	103° - 35°	103° - 35°	62° - 2°	62° - 2°
垂直画角	53° - 23°	53° - 23°	47° - 2°	47° - 1°
映像コーデック	H.264、MJPEG			
ONVIF	Profile S、G			
ストリーミング	H.264/MJPEG同時最大3ストリーミング			
WDR	○(120dB)			
統合赤外線投光 器	○(IR LED)、 最大範囲: 30m	○(IR LED)、 最大範囲: 30m	×	○(IR LED)、 最大範囲: 120m
IP/ICクラス	IR66/IK10(防水、バンダプルプロテクト)			
環境温度	-30℃～+60℃ 湿度10～90%		-40℃～+50℃ 湿度10～90%	

MOBOTIX MOVE カメラモデル - 主要技術詳細比較				
				
電源: 消費電力	PoE IEEE802.3af、 或いはDC 12V(2.12A)、 或いはAC 24V; 最大13.68W	PoE IEEE802.3af、 或いはDC 12V(2.12A)、 或いはAC 24V; 最大13.68W	PoE IEEE802.3af、 或いはDC 12V(2.12A)、 或いはAC 24V; 最大25.4W	PoE IEEE802.3af、 或いはDC 12V(2.12A)、 或いはAC 24V; 最大39W
ストレージ	SDカード(microSD/microSDHC/microSDX、カードは出荷時に含まず)			
認定	CE/FCC、LVD			
重量	760g	780g	2900g	3800g
コネクター	RJ45、アラームIN(4x)、アラームOUT(2x)、オーディオOUT、DC12V/AC24V; スピードドーム用: CVBS、RS-485			
ハウジング	メタルとプラスチック			
MTBF	40,000時間			
保証	2年(保証期間延長オプション無)			

MOBOTIX MOVEについてのFAQ:

なぜ新しいカメラを”MOBOTIX MOVE”と呼ぶのか、なぜ通常のMOBOTIXではないのか？

MOBOTIXは、カメラがただのカメラだけではなく、むしろインテリジェントで完全なビデオシステムという分散型ビデオシステムのパイオニアです。分散型MOBOTIXシステムは中央に録画用デバイス、或いは中央集中型のVMSが搭載されたワークステーションの追加的コンピューティングパワーを必要としません。MOBOTIXビデオシステムは、シンプルにイーサケーブル経由でネットワークに接続し、PoE給電、追加VMS無し(ライセンス費無)で完全に使用できます。一度設定されたら、各々のカメラの録画、ヒートマップ、人数カウント、行動検知による画像解析、ノイズセンサー、照度センサー、モーションセンサー、アクティビティセンサーは、完璧に制御されます。:自動的に、イベント制御により、インテリジェントで効果的な方法です。

約20年間、技術的な優位性を継続した後、MOBOTIXは分散型ビデオテクノロジーを、**新たな完璧なレベルへと高め**ます。それは、インテリジェントなIoTデバイスとして提供される各々のMx6ビデオシステムに反映されます。分散型MOBOTIXビデオシステムは、最大のビデオセキュリティ、長寿命、機能性とデータセキュリティを供給されるほぼすべてのプロジェクトのための理想的な選択となるでしょう。

MOBOTIXシステムのその他の特別な機能は、機械的な可動部品を完全に排除していることです。これは、ほぼメンテナンスフリーであると同様に、平均以上の寿命と信頼性とセキュリティへの投資と合わせて、ドイツで開発・製造されているMOBOTIXシステムを、世界的に有名にしました。

しかしながら、全ての価格帯、品質において市場で購入可能な旧来の標準的なカメラテクノロジーもまた進化し、特定のプロジェクトの要求に対応しているかもしれない機能を提案しています。これらの要求は、モーターで動くPTZソリューション、赤外線カットフィルター付の機械的なデイナイト切替、ONVIF SとGの絡んだ中央集中型VMSとの互換性かもしれません。

上記のような理由から、MOBOTIXは未だに機械的に可動する部品を分散型ビデオシステムに取り込むことは本意ではないので、MOBOTIXビデオシステムは、お客様の要求を満たすために例えば他社製のPTZカメラで補われなければなりません。



多くの理由により、また、単一源から全てをお客様に提供できるようにするため、MOBOTIXはMOBOTIXの製品シリーズにMOBOTIX MOVEカメラ補完シリーズを加えることを決めました。これは、最も多く要求されている標準的なテクノロジー(最新のマーケット解析による)を含んでおり、それによって、お客様は、高品質のMOBOTIX製品ソリューションとともに全ての要求を満たせます。

MOBOTIX = Without moving parts ←→ MOBOTIX MOVE = With moving parts

しかしながら、MOBOTIX MOVEカメラは多くの点でMOBOTIX分散型ビデオシステムとは異なるので、MOBOTIXは、これらの補完的カメラを独立した製品ラインとしてMOBOTIX MOVEという名称のもと提供していきます。これに関連して、MOBOTIXが対峙する事実を考慮すると同様に、この場合、これまでの市場に分散型ビデオシステムのみを提供するという厳格なポリシーとは離れて、“MOVE”は、これらのカメラにおいて機械的可動部品を使用していることを象徴しています。

MOBOTIX MOVEカメラの理想的な利用法は？

MOBOTIX MOVEカメラは、MOBOTIXの完成した分散型ビデオシステムを組み合わせることが出来ないような、使用を想定されるカメラの仕様を厳格に決められている全てのプロジェクトに利用可能です。;例えば、ONVIFスタンダードに沿ったVMS統合は、MOBOTIX Mx6カメラでも可能ですが、ONVIF Gは現状利用不可能です。MOBOTIX MOVEは、WDRと統合赤外線イルミネーションを持つパワフルなモーター制御のPTZカメラ、ドーム或いはブレットカメラにより、MOBOTIXシステムをタイムリーに補完できる高品質な製品ソリューションです。

他メーカーの比較可能な標準カメラに比べ、MOBOTIX MOVEの優位性は何ですか？

多くのエンドユーザーは、一つの供給源からそのビデオテクノロジーを入手したいと思っています。つまりMOBOTIXから全てを入手したいと。かれらは世界中のMOBOTIXビデオのエキスパートから完全なシームレスなシステムの導入を享受することができ、MOBOTIXサポートチームにアクセスすることができます。特に高品質で信頼性のある製品によって知られる製造者として、MOBOTIXは、他の全てのMOBOTIXの製品同様に同じ高い基準と製品基準に沿って製造されるMOBOTIX MOVEカメラの品質を保証することができます。

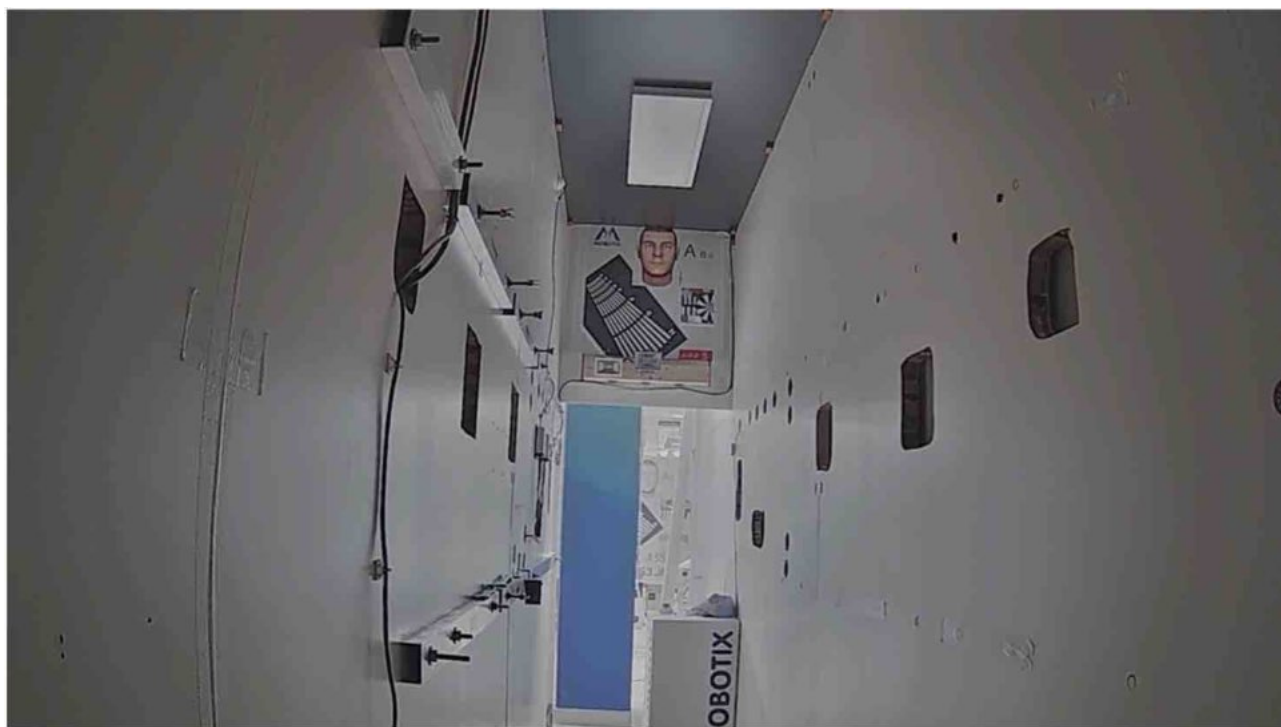
MOBOTIX MOVEカメラの主要機能は何？

- ・ オートフォーカス
- ・ ワイドダイナミックレンジ(WDR)
- ・ 統合スマートイベント機能: 外部アウトプット、モーション検知、ネットワークエラー検知、定期イベント、マニュアルトリガー
- ・ ソフトウェアによるモーターズーム/フォーカス制御/オートフォーカスレンズ付アイリス制御
- ・ ハイスピードPTZ(2つのスピードドームカメラ用)
- ・ 自動赤外線カットフィルター付輝度依存カラー・白黒画像切替
- ・ 統合赤外線イルミネーション(効率的なLEDテクノロジー)、スピードドームSD-330には無し

WDR(ワイドダイナミックレンジ)はどのような優位性をもたらす？

MOBOTIX MOVEカメラは、統合された高品質のWDR画像プロセッシングテクノロジーを特徴としています。これによりカメラは、録画する場面において輝度が特に強く異なる場合に自動的に個々の露光時間を違えて補完します。それにより、画像内に露出過剰或いは露出不足が起こるのを防ぎます。

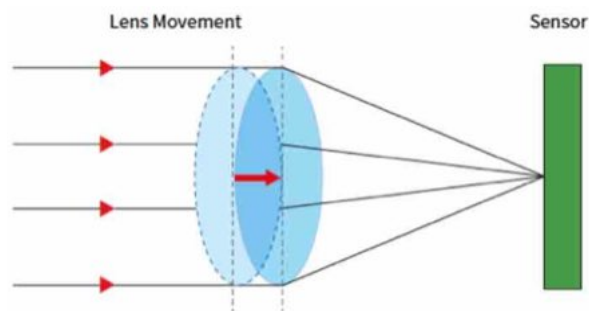
ワイドダイナミックレンジは、建物の入り口、店舗のディスプレイウィンドウ、搬入口、または駐車場への入り口など、非常に要求の厳しい照度条件（非常に明るい領域と暗い領域を組み合わせたアプリケーション）のフレームを詳細に表示します。



WDR機能起動時のオリジナルMOBOTIX MOVEカメラ画像: 明るい光が入ってくるドアと同様暗いテストルーム内でも容易に詳細を認識することができます。カメラは、最小時間内に撮影された2つの異なる照度の個別画像を自動的に結合し、それによりライブの完全な画像を生成します。

なぜ、オートフォーカスを利用して画像の焦点をあわせるのか？

MOBOTIX MOVEでは、そのモーター制御で、単なるデジタル(PT)Zではないので、マニュアルでレンズの焦点を合わせること(通常は1回必要)が、MOBOTIXの工場内ではできません。或いは現場でのレンズ交換もできません。この理由により、MOBOTIX MOVEカメラは、速く、信頼性の有るオートフォーカス機能のためのユニークなアルゴリズムを使用します。カメラは個別に、自動的に或いはボタンを押した時に、焦点を合わせます。つまり、位置やズームのレベルの各々の変化に対してすばやく調整します。



2つのMOBOTIX MOVEスピードドームカメラの特別な特徴は何でしょう？

MOBOTIX SD-330とSD-340-IRスピードドームカメラは、洗練されたメカ、非常に速く反応する旋回とチルトのテクノロジーを特徴としています。遠く離れたオブジェクトを録画することができる最大40倍の光学ズーム機能、サーボフィードバックテクノロジー(フィードバック制御技術)、電氣的画像安定装置(EIS: Electric Image Stabilizer)を搭載しています。サーボフィードバックテクノロジーにより、カメラが外部からの力(破壊行為や環境的な振動など)が突然影響しても、直ちにデフォルトのモニタリ



ング対象のエリアに戻るようになっていきます。EISテクノロジーは、画像内の対象の動きを能動的に録画し、適宜これを補填することで、効果的に安定した画像を生成することができます。;ズームレベルを高く設定したり、カメラが環境的な振動が常に一定でないような場所(強風やトラックが通り過ぎる時のような)に設置されている場合に特に有効です。

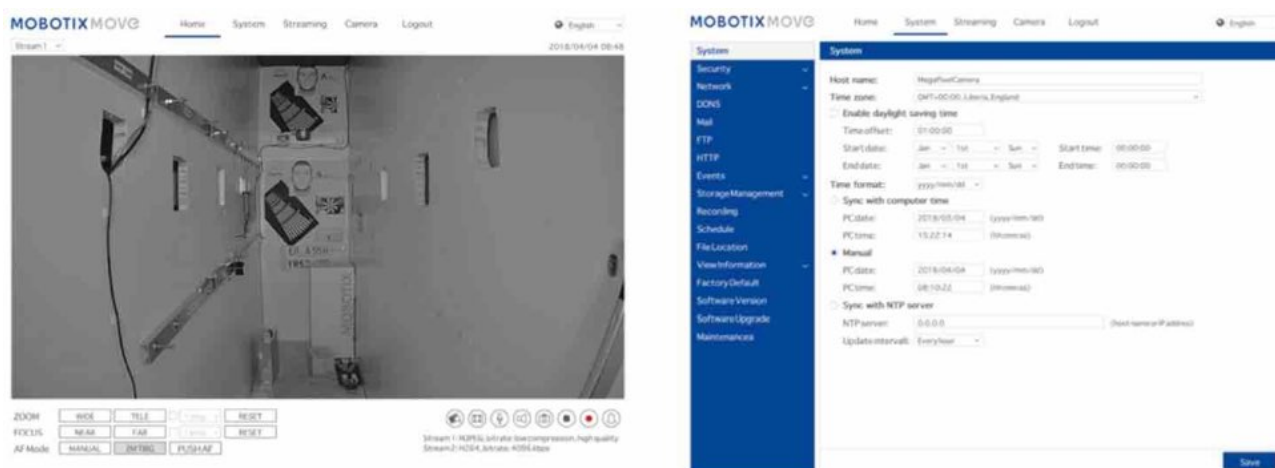
MOBOTIX MOVEは、いずれドイツのMOBOTIX工場で製造されることになるのでしょうか？

MOBOTIXは、ドイツのMOBOTIX本社で全てのMOBOTIX MOVE製品の仕様を決定し、テスト、適格性を判断します。しかしながら、製造自体は、MOBOTIXが依頼し厳格な仕様のもと作業をする台湾のテクノロジーパートナーによって執り行われています。このパートナーを選定した決定的な基準は、MOBOTIX MOVEのための平均以上のサイバーセキュリティのレベルをエンドユーザーに保証できるという事実と同様に、平均以上の品質と機能にあります。しかし、データセキュリティをより高めたMx6シリーズの特別な機能(バッファされたアーカイブによるMxFFSストレージシステムやMxPEG+セキュリティビデオコーデックのような)は、そのシステムによるものであり、MOBOTIX MOVEカメラでは利用できません。

MOBOTIX MOVEカメラは、Mx6ビデオシステムと同じソフトウェアで使えますか？

いいえ、MOBOTIX MOVEは、ウェブブラウザ経由で簡単にオペレーション可能でカメラと一緒に出荷される非常に容易に覚えて使用できる、それ自体のファームウェアを持っています。加えて、MOBOTIX MOVEカメラは、ONVIF SとGにより、サードパーティーのシステム(マイルストーンシステムなど)によるVMS(ビデオマネジメントシステム)に統合可能です。

モジュラー構造を持つユニークでパワフルなVMハイブリッドソリューションは、MOBOTIXからすぐにご利用可能になります。:近い将来リリース予定のMxManagementCenter 2.0(2018年Q4リリース予定)は、MOBOTIX MOVEカメラとMOBOTIXビデオシステム(Mx6以前)を一つの同じVMSで並列に最適に組み合わせて使用することが可能となります。



MOBOTIX MOVEカメラのファームウェア: サンプル画像

MOBOTIX MOVEカメラソフトウェアを一つのブラウザで使用するためのシステム要件は？

ウェブブラウザでIPアドレスを入力することでカメラを起動することができるようにするために、そのPCはネットワークに接続され、下記のシステム要件を満たすようにしてください。

構成要素	システム要件
PC	最低: Intel®Core™ i5-2430M@2.4GHz以上、4GB RAM 推奨: Intel®Core™ i7-870@2.49GHz以上、8GB RM
OS	Windows VISTA / Windows XP / Windows 7 / Windows 10
ウェブブラウザ	Microsoft Internet Explorer 11.0以降(推奨)、Chrome、Firefox、Safari
ネットワークカード	10Base-T(10 Mbps)、100Base-TX(100 Mbps)或いは1000Base-T(1000 Mbps)
ビューワー	Microsoft Internet Explorer用ActiveXコントロールプラグイン

MOBOTIX MOVEの操作マニュアルは何が利用可能か？

各々のカメラはパッケージの中にクイックインストールガイドを入れて出荷されます。テクニカルデータシート、カメラとソフトウェアのマニュアルは、PDFでMOBOTIXウェブサイトからダウンロード可能です。(後日、弊社サイトにもアップロード予定)

MOBOTIX MOVEカメラには、どのようなアクセサリがありますか？

リリースにあたり、MOBOTIX MOVEカメラ用の適切なウォール、天井付、コーナー・マウントが、ご注文いただけます。交換用ドームカバー(透明或いは色付)もご利用いただけます。MOBOTIX NPA PoE setは、MOBOTIX MOVEカメラ(ブレットとバンドルカメラのみ)或いはMOBOTIX MxSwitch(スピードドーム IRは不可)にもPoE給電としてご利用いただけます。

MOBOTIX MOVEカメラの設置のために必要な標準アクセサリ、ストレージカード、電源パーツ(給電がPoE経由で設定されていない場合)、ネットワークケーブルは、MOBOTIXからは提供されません。

MOBOTIX MOVEとMOBOTIX Mx6ビデオシステムとの主な違いはなんですか？

	MOBOTIX MOVE	MOBOTIX Mx6
センサー解像度	4MP/3MP	6MP
デイナイトセンサー	カラーから白黒画像への自動切り替え(機械的赤外線カットフィルター)	分離したデイセンサーとナイトセンサーを搭載(2眼レンズカメラ); カラーデイセンサーはムーンライトセンサーにより薄っすらと明るい場面(月明かりのような)にも適用可
レンズ	モーター付バリフォーカルレンズ(オートフォーカス)、水平画角1°~103°(モデルによる)	HDプレミアムレンズ(固定焦点距離)、水平画角8°~180°(モデルによる)
H.264/MJPEG	○	○
MxPEG+	×	○
ストリーミング	H.264/MJPEGストリーミング同時最大3ストリーム	MxPEG/MJPEGマルチストリーム、1xH.264ストリーム
WDR	○(120dB)	×
MxBus接続	×	○(全てのMx6Bシリーズ)
MiniUSBコネクタ	×	○
アラーム In/Out	○	アクセサリ(インターフェイスボックス)経由
MxMessageSystem	×	○
基本的ビデオモーション	○	○
インテリジェント・画像解析	×	MxAnalytics(モデルによる): ヒートマップ、人数カウント、行動解析
インテリジェント・ビデオモーション	×	○
SDカード	SDカードスロット、カード無	4GBカード プリインストール
フェイルオーバー・ストレージシステム	×	○(MxFFS経由)
ONVIF	Profile S、G	Profile S
Genetec プロトコル(組込)	×(ONVIF経由のみ統合)	○
MxThinClient統合	×	○
MxMC VMS統合	○、ONVIF切替MxMC2.0経由(2018年Q4予定)	○、MxMC1.8以降の基本設定含む
MxBell App統合	×	○
MTBF	40,000時間	80,000時間
標準保証	2年	3年
延長保証	×	8年までの延長保証オプション

MOBOTIX MOVEとそのアクセサリのコストは？



MOBOTIX MOVEバンダルドームカメラ

製品番号	詳細	受注開始
Mx-VD1A-4-IR	MOBOTIX MOVEバンダルドームネットワークカメラ VD-4-IR	2018年8月
Mx-M-VD-IC	天井付セット	2018年8月
Mx-M-VD-W	ウォールマウント	2018年8月
Mx-M-VD-P	ポールマウント	2018年8月
Mx-M-VD-C	コーナーマウント	2018年8月
Mx-A-VD-DCT	標準交換用ドーム	2018年8月
Mx-A-VD-DCS	色付交換用ドーム、特に明るい環境用	2018年8月



MOBOTIX MOVEプレートカメラ

製品番号	詳細	受注開始
Mx-BC1A-4-IR	MOBOTIX MOVEプレートネットワークカメラ BC-4-IR	2018年8月
Mx-M-BC-W	ウォールマウント	2018年8月
Mx-M-BC-P	ポールマウント	2018年8月



MOBOTIX MOVEスピードドームカメラ

製品番号	詳細	受注開始
Mx-SD1A-330	MOBOTIX MOVEスピードドームカメラ SD-330	2018年8月
Mx-SD1A-340-IR	MOBOTIX MOVEスピードドームカメラ SD-340-IR	2018年8月
Mx-M-SD-W	ウォールマウント	2018年8月
Mx-M-SD-P	ポールマウント	2018年8月
Mx-M-SD-C	コーナーマウント	2018年8月
Mx-M-SD-DCS	SD-330用色付交換用ドーム、特に明るい環境用	2018年8月
Mx-A-SD-DCT	SD-330用標準ドーム	2018年8月

2. Mx6Aシリーズ販売終了 2018年7月31日

MxBus付Mx6Bシリーズの販売開始により、現在、唯一無二の最新世代のMOBOTIX分散型テクノロジーを搭載したインテリジェント室内カメラ、屋外カメラとサーマルカメラの完成したレンジを入手することができます。それ故、MOBOTIXは2018年7月31日をもって、Mx6Aカメラシリーズ全てを販売終了することを決定しました。在庫、供給部品がなくなるまでは出荷可能です。

これにより、お客様においては、よりシンプルで明瞭な提案と内部的或いは外部的な合理化により、より迅速に利益を得ることになります。

MOBOTIXは、MOBOTIXカラの実提供可能な革新的なMxBusテクノロジーに対する関心が継続的に増えていくことを嬉しく思います。MxBusは、照明、アラームシステム、電気デバイスなどのような外部デバイスをインテリジェントで自動化された制御をするための追加のセキュリティセンサー或いは接続ボックスを取り付けると言った、MOBOTIXビデオシステムのための安価でパワフルな拡張ソリューションの提供と同様に、非常にシンプルで最大限”盗聴防止”の暗号化を可能にします。

Mx6Aシリーズ販売終了 2018年7月31日		
製品群	シリーズ	製造終了(EOL)
第1世代Mx6屋外ビデオシステム(Mx6A)- MxBus機能無	2眼レンズ: M16A、D16A、V16A、S16A 単眼レンズ: S26A、M26A、D26A、Q26A	2018年7月31日
第1世代Mx6屋内ビデオシステム(Mx6A)- MxBus機能無	c26A、i26A、p26A、v26A	2018年7月31日
第1世代Mx6サーマルビデオシステム(Mx6A)- MxBus機能無	M16TA(サーマルレディオメトリ有/無全てのバージョン)	2018年7月31日

3. スケジュール

販売終了(EOL):

全てのMx6A(MxBus無)ビデオシステム	2018年7月31日製造終了; 在庫有る限り注文可能
ドアステーション用クワッドフレーム/ハウジング	2018年8月31日製造終了; 在庫有る限り注文可能

新ハードウェア - 注文可能

MOBOTIX MOVEカメラとアクセサリ	2018年8月出荷開始
-----------------------	-------------

お問い合わせ先: MOBOTIX JAPAN (モボティックス ジャパン)

Tel: 045-227-6174

Fax: 045-227-6286

e-mail: cam-sales@mobotix.jp

www.mobotix-japan.net

MOBOTIX AGについて:

MOBOTIX AGは、1999年にドイツ・カイザースラウテルンで、Dr.Ralf Hinkelにより創業された、ネットワークカメラ・システム開発製造会社です。全てのMOBOTIXネットワークカメラは、ドイツ本社工場で製造されています。

www.mobotix.com

MOBOTIX JAPANについて：

MOBOTIX JAPANは、MOBOTIX AGの日本パートナーである株式会社K.J.フェローにより運営されています。

MOBOTIX JAPANは、MOBOTIXの日本輸入販売代理店です。

www.mobotix-japan.net

K.J.フェローについて：

株式会社K.J.フェローは、2003年10月に創業。ネットワークカメラ、セキュリティ関連の海外製品の輸入販売、コンサルティング専門のIT&セキュリティ技術商社です。MOBOTIX JAPANを運営し、日本市場開拓を担っています。

www.kjfellow.com